NAW-C-HP-G 型

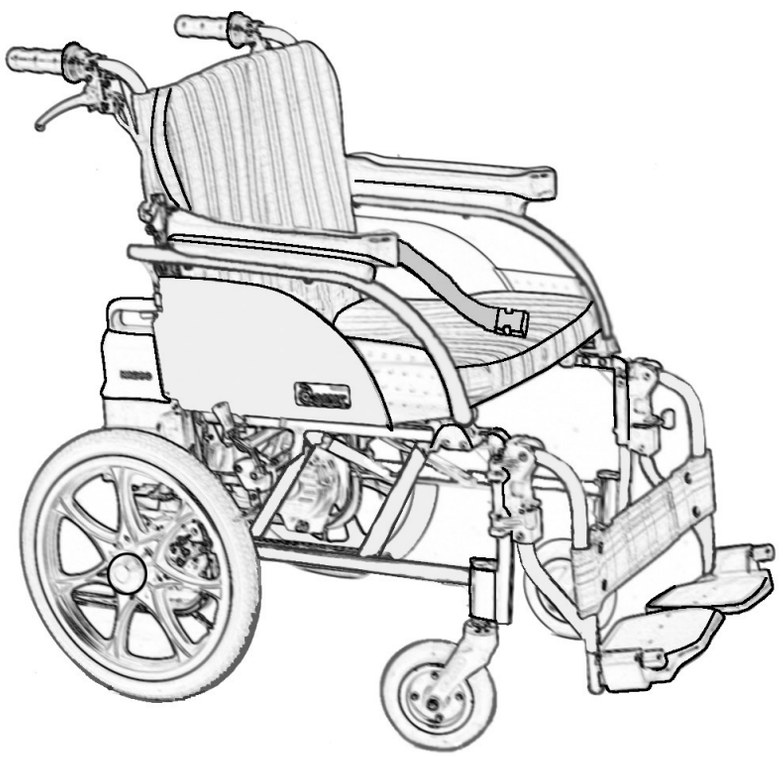
アシストホイール®

ハイパワー型

介助用《電動補助装置付き》車いす

取扱説明書

アシストホイール® は、介助される方の負担を軽減するために、車いすを押す力を補助する介助用《電動補助装置付き》アシスト® 車いすです。
ご使用いただくときは必ず介助者が付添うようにお願いいたします。



安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みになり内容をよくご理解いただいたうえで正しくご使用ください。
なお、この取扱説明書には保証書も含まれています。
お読みになった後は、必要なときにいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。

Nabtesco
ナブテスコ株式会社

（神戸）〒658-0024　神戸市東灘区魚崎浜町35
TEL（078）413-2724　FAX（078）413-2725
（東京）〒105-0022　東京都港区海岸1丁目9-18
TEL（03）5470-2427　FAX（03）5470-2418
（ホームページアドレス）http://welfare.nabtesco.com

ご相談窓口

住環境カンパニー　福祉事業推進部
フリーダイヤル
料金無料 0120-725-294

このたびは「アシストホイール®」をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みになり、内容をよくご理解いただいたうえで正しくご使用ください。
なお、この取扱説明書には保証書も含まれています。お読みになった後は、必要なときにいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。
この取扱説明書は、NAW-16C-HP-G 型、NAW-22C-HP-G 型についてご説明しています。

「アシストホイール／ ASSISTWHEEL」は、ナブテスコ株式会社の登録商標です。No.4220105,4220106
「アシスト／ ASSIST」は、ナブテスコ株式会社の登録商標です。No.4332604,2168132

安全上の注意について

特に注意が必要な事項について、下記のシンボルマークで強調しております。必ずご確認いただき、守ってください。

正しい取扱いに関する必要事項をシンボルで表示しています。

警告	取扱いを誤った場合、**死亡**または、**重傷**にいたる可能性が想定される場合を示しています。
注意	取扱いを誤った場合、**傷害**にいたる可能性または、**物的損害**の発生が想定される場合を示しています。

取扱いの要点をシンボルマークで表示しています。

要点	正しい操作の仕方や、点検整備上のポイントを示しています。

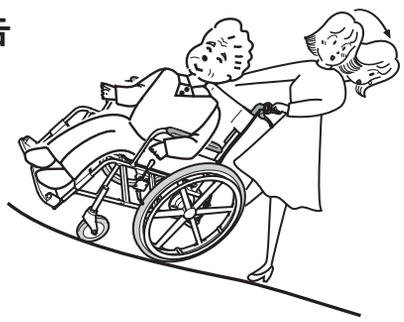
また、絵や文章とともに次のシンボルマークをつけて、人がしてはいけないこと、必ずしなければならないことを区別しています。

または **禁止**	してはいけないことを示しています。
または **強制**	必ずしなければならないことを示しています。

安全のために必ず守ってください

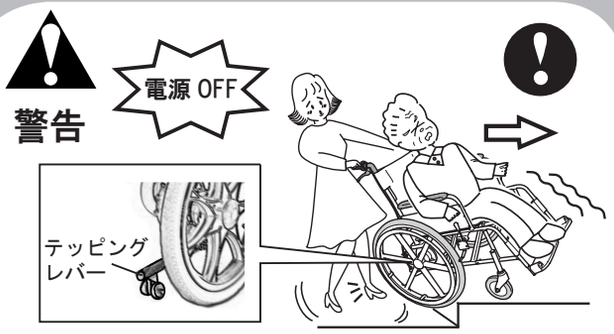
安全にお使いいただくために、以下の注意事項をよく読んで、正しくお使いいただくようお願いいたします。

警告



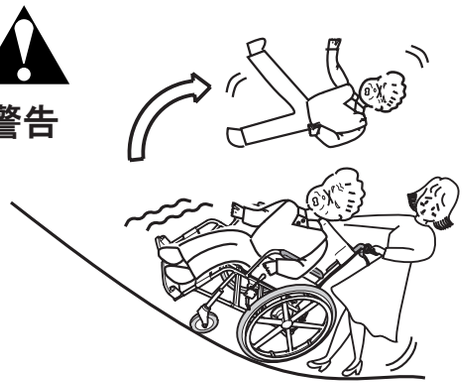
急な坂を下りるときは、後向きで降りてください。
前向きで降りると搭乗者が転落する可能性があります。

警告



段差を乗り越えるときには、後ろへ倒れないよう十分注意して操作してください。
ティッピングレバーを使用するときは、電源を切ってください。(P20 参照)

警告

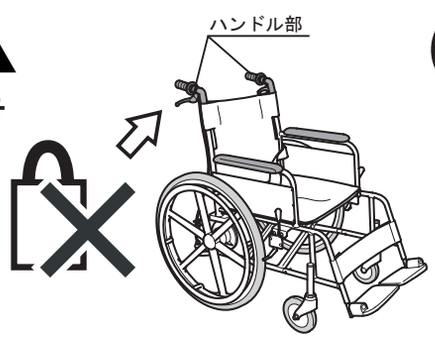


急な坂で旋回するときは、車いすを支えきれず転倒する可能性がありますので十分にご注意ください。
角度が 14° を超える坂では使用しないでください。

警告

傾斜地では駐車しないでください。
駐車は必ず平地で行ってください。(P12 参照)
また、急な坂では長時間立ち止まらないでください。
思わぬ事故の原因につながります。

警告

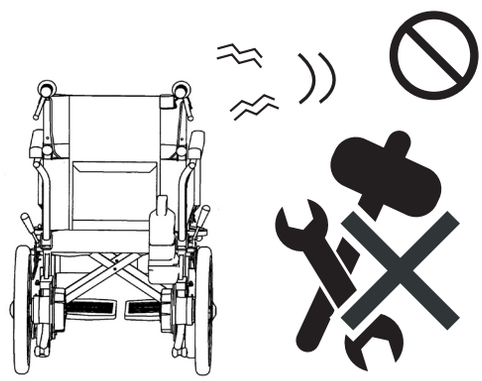


ハンドル部は介助者の意図を感知する部分です。ここに買い物袋などを吊り下げないでください。特にゴム製のジャバラ部分は決して触らないように願います。
作動不良の原因になります。

注意

水がかかったり、雨に直接あたったり、湿気の多い場所に放置しないでください。
外出途中で雨にあたった場合は速やかに雨のかからない場所へ移動してください。
特に、電気系統に水が入りますと作動不良になることがあります。

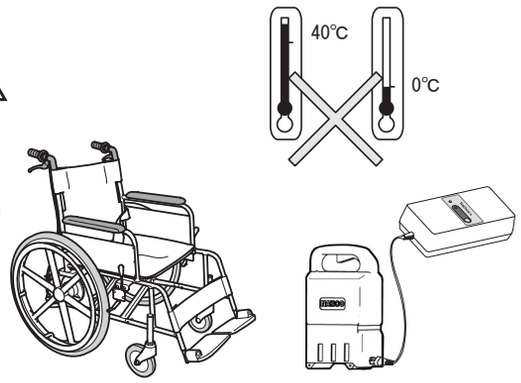
注意



ハンドル部・バッテリー収納部（制御部）・モーター・バッテリー・配線ケーブル・フレームには衝撃を加えたり、分解しないでください。
故障の原因になります。

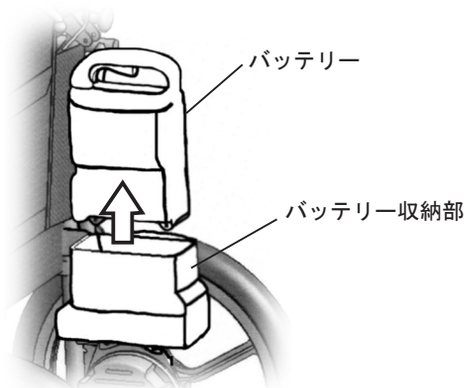
注意

禁止



使用温度範囲０～４０℃以外では使用しないでください。また使用温度範囲以内でも、電気系統に結露があるときは使用しないでください。
作動不良の原因になります。

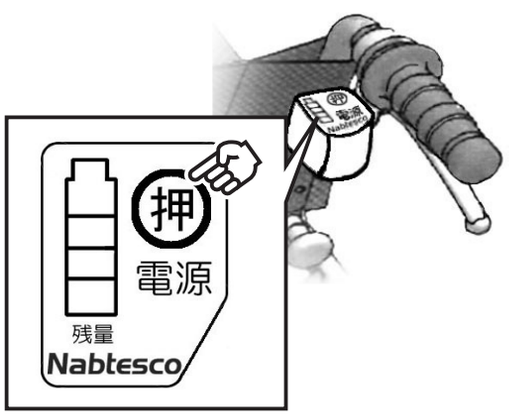
注意



使用しないときはバッテリーを本体から外してください。（P19 参照）

注意

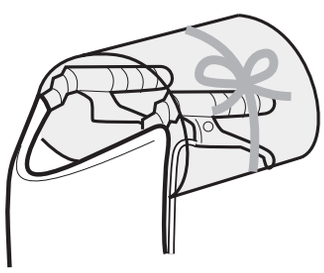
強制



バッテリーを取りつけたり取りはずすときには、必ず電源を切ってください。

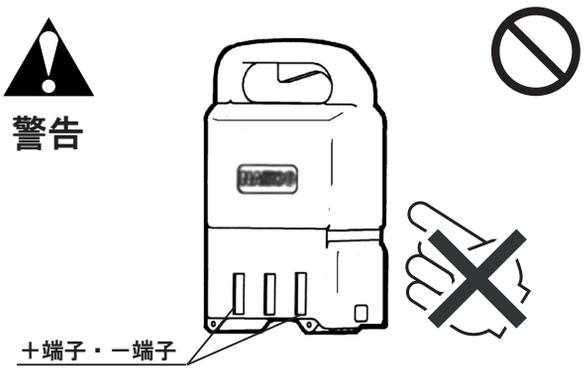
注意

強制



運搬するときは、必ず電源を切って、バッテリーをはずしてハンドル部およびバッテリー収納部に衝撃を与えないように保護してください。
また、車への積み込み時などハンドル部を持ち上げることは避けてください。
作動不良の原因になります。

警告

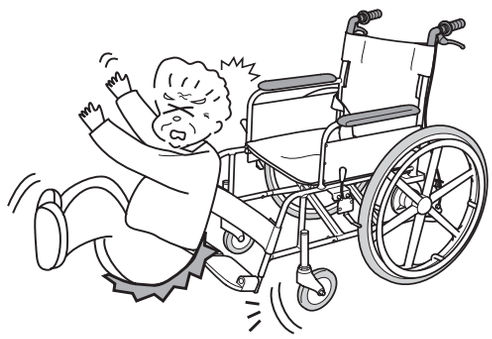


バッテリーの＋端子と－端子を針金などで接続したり、また金属製品と一緒に持ち運んだり保管はしないでください。
手や物で触れたりしないでください。

警告 **強制**

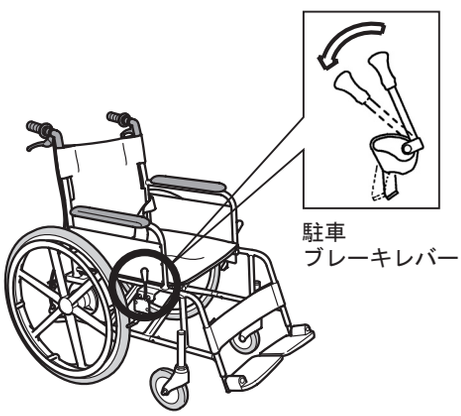
アシストホイールは、介助者を補助するための車いすです。
必ず介助者が操作するようにしてください。

警告



車いすから乗り降りしたり、介助者が離れるときは、電源を切って必ず左右両輪の駐車ブレーキをかけてください。(P12 参照)
車いすが動いて事故につながる恐れがあります。

警告

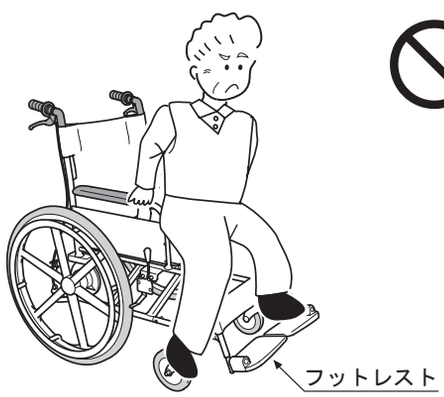


駐車の際は左右の駐車ブレーキをかけてください。
(P12 参照)
車いすが動き出し、事故につながる恐れがあります。

警告

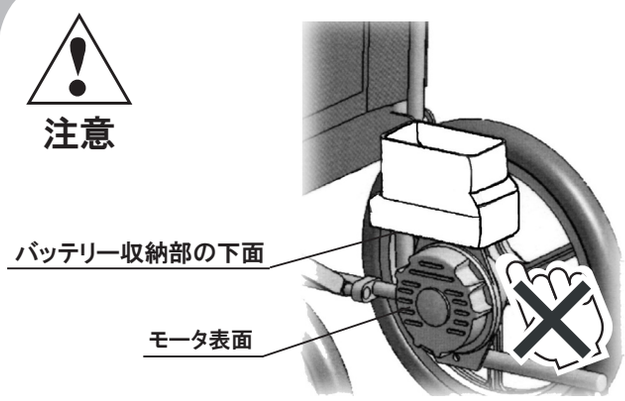
走行中は、駐車ブレーキの操作は行わないでください。
搭乗者が転落することがあり危険です。
走行する際は、駐車ブレーキが解除されていることを必ず確認してください。

警告



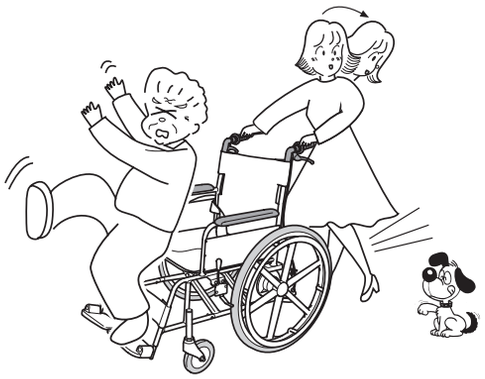
フットレスト（足を乗せる所）に立ったり、直接体重をかけないでください。
フットレストが破損したりバランスをくずし倒れる恐れがあります。

注意



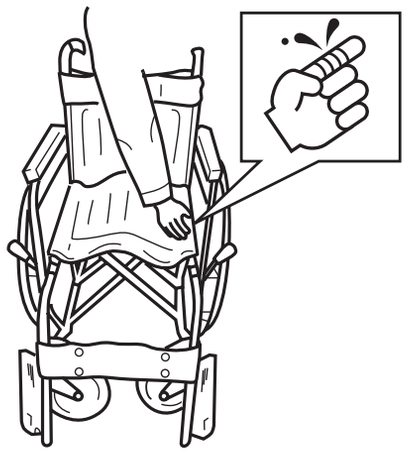
バッテリー収納部の下面およびモーター表面は、使用状況や環境により高温になることがありますので、触らないようにしてください。

注意



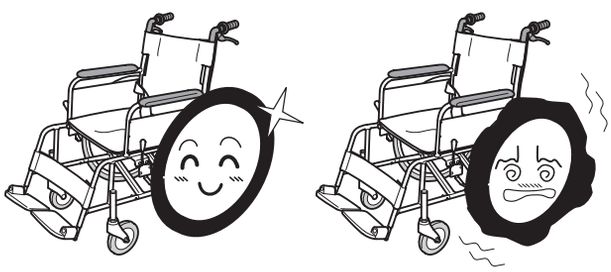
搭乗者が車いすに完全に座れているか確認してから走行してください。
身体の一部や衣服が車輪に挟まれていないか確認してから走行してください。

注意



車いすを開くとき、たたむときにはフレームに手を挟まないように注意してください。

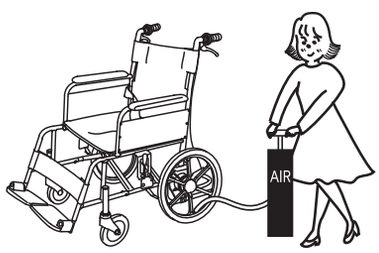
注意 **強制**



タイヤが摩耗したり、傷がついたときには速やかに交換してください。
駐車ブレーキの効きが悪くなります。

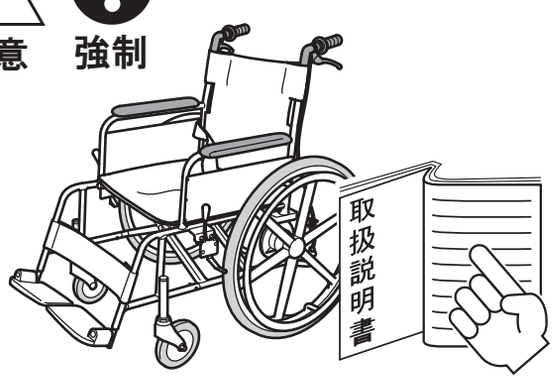
注意

要点



空気入りタイヤの場合
(16 インチ型後輪)
タイヤの空気圧は常に指定どおりの圧力に保ってください。(250KPa{2.5kgf/cm²})
空気が減っていると駐車ブレーキの効きが悪くなります。また、タイヤやチューブにも悪影響を与え寿命が短くなります。

注意 **強制**



本製品を第三者に貸すときは、取扱いについて十分に説明し、理解してから貸し出してください。

注意 **禁止**

- ストーブなどの火気に近づけないようにしてください。
- 車道に近いところ、子供が遊びに使えるような場所に放置しないでください。

強制

車いすは、歩行者として扱われますので、必ず歩道、または道路の右側を走行してください。

もくじ

安全のために必ず守ってください …… 2

各部の名称 …… 7

アシストホイールの基本構成と特徴（機能） …… 9

ご使用になる前の準備 …… 10

各部の使用方法 …… 11
- 1 車いすの折りたたみかたと開きかた …… 11
- 2 背折れタイプの折りたたみおよびたてかた …… 11
- 3 ブレーキの使用方法 …… 12
- 4 シートベルトの使用方法 …… 13
- 5 クッションシートの取付方法 …… 13
- 6 フットレストの調整 …… 14
- 7 移乗時のアームレストスイングアップおよび着脱方法（DT 型） …… 15
- 8 フットレストのスイングアウトおよび着脱方法（DT 型） …… 17

アシストホイールの操作方法 …… 19

残量表示ランプの内容 …… 21

バッテリー充電方法 …… 22
- 1 バッテリー充電時の注意事項 …… 22
- 2 バッテリー・充電器各部の名称 …… 24
- 3 充電の手順 …… 25
- 4 充電器表示ランプの状態説明 …… 27

“おかしいな”と思ったら …… 28

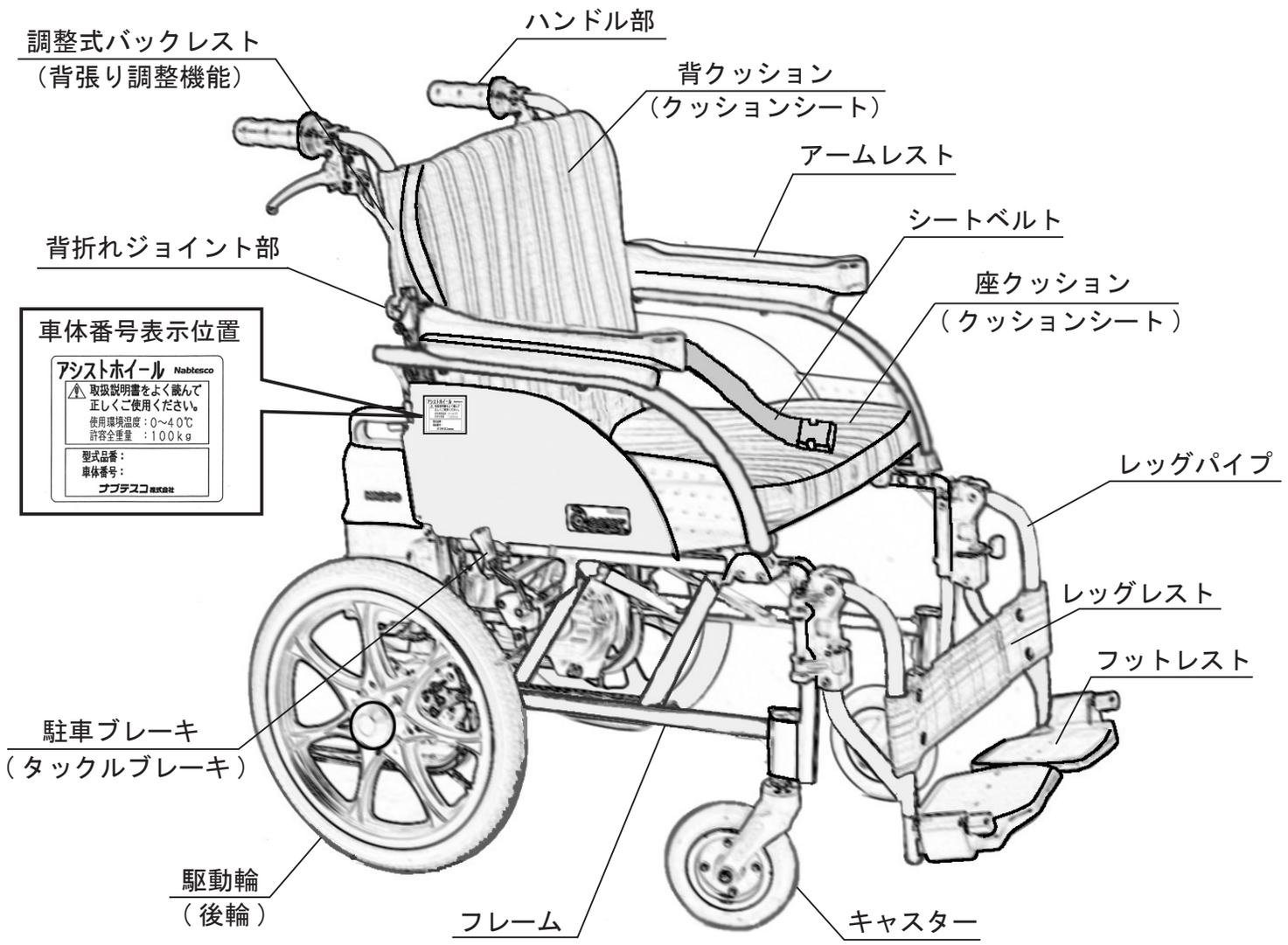
日常の点検・お手入れと保管方法 …… 29
- 1 日常の点検 …… 29
- 2 日常のお手入れ …… 30
- 3 保管方法 …… 31

製品概要 …… 32

保証とアフターサービスについて …… 33

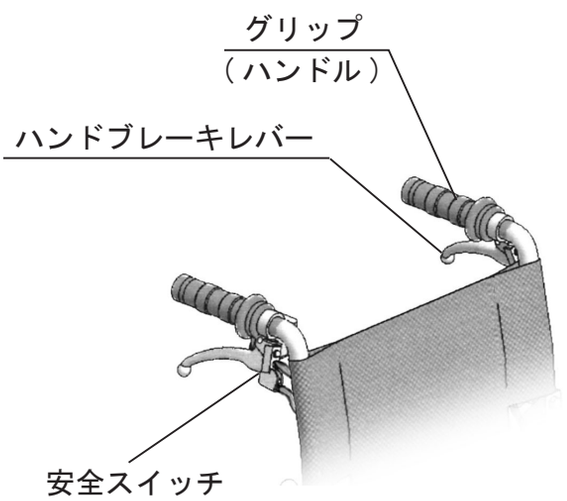
品質保証書

各部の名称

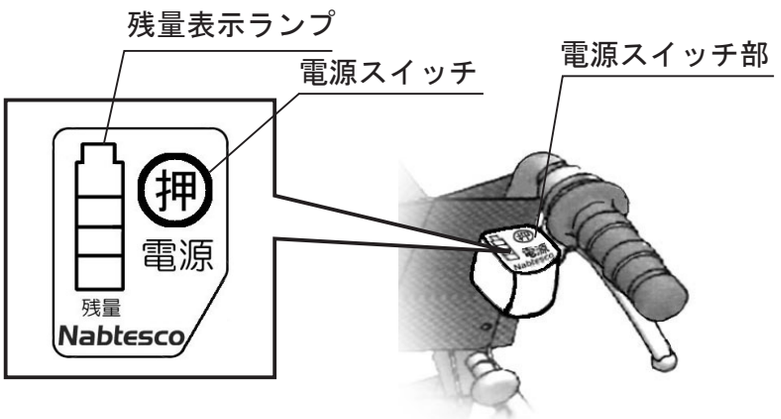


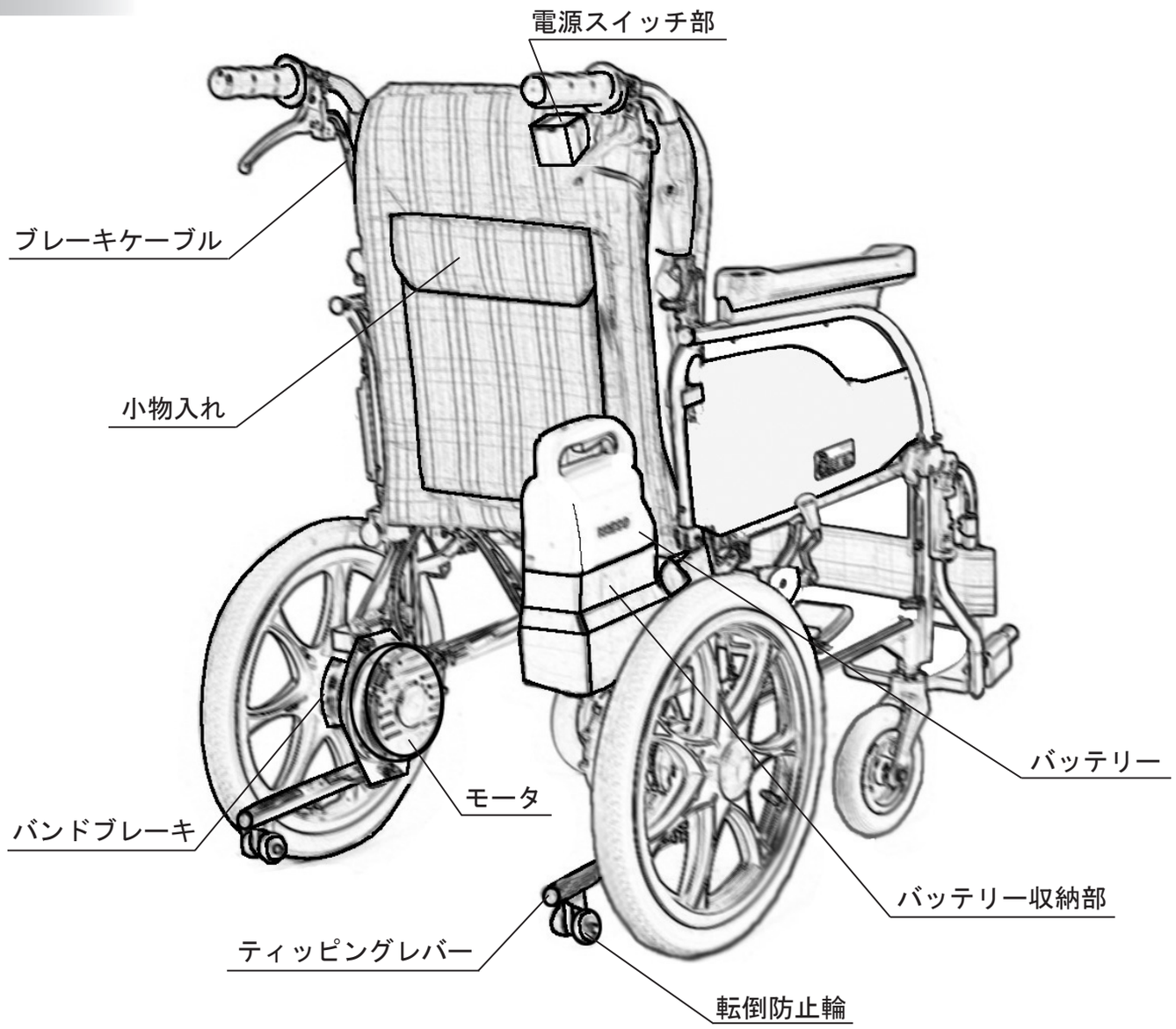
NAW-16C-DT-HP-G 型

ハンドル部（センサー内蔵）

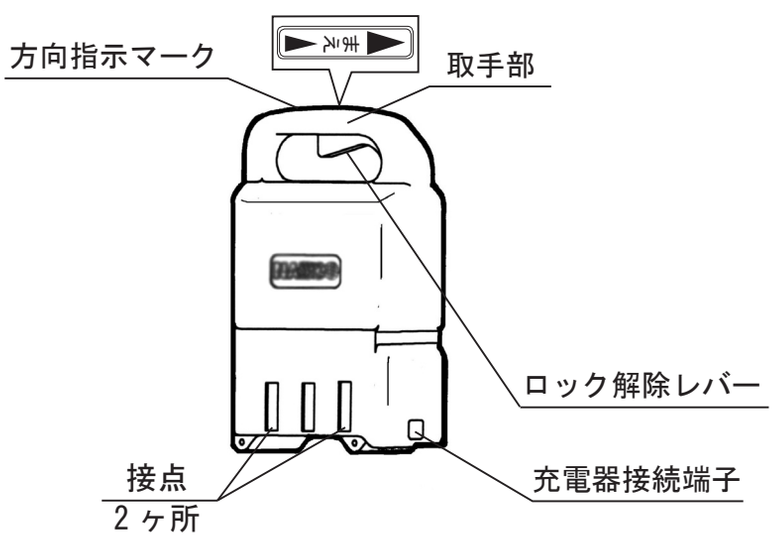


電源スイッチ部

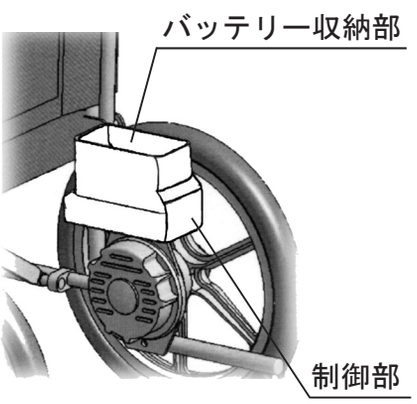




バッテリー



バッテリー収納部（制御部内蔵）



アシストホイール®の基本構成と特徴（機能）

特徴（機能）

アシストホイール®は電源を入れた状態ではハンドルの動きに応じて自動的にアシスト®機能が作動します。電源を切ると通常の車いすとして使用できます。

電源を入れた状態では

1）平地および坂を上るとき

・進行方向にハンドルを押す（後ろ向きの場合は引く）だけで補助力[注1)]が得られます。特別な操作は不要です。

2）坂を下るとき

・進行方向と逆方向にハンドルを引く（後ろ向きの場合は押す）ことでブレーキがかかり坂をゆっくり降りることができます。

3）停止するとき

・進行方向と逆方向にハンドルを押す（または引く）と補助力が逆に働き、ブレーキがかかります。 ただし、急な坂道で長時間停止するときは安全機能[注2)]が働くため、ハンドブレーキを使用してください。

・急に停止する時あるいは急な坂道で停止する時は、ハンドブレーキをかけてください。ただし、ハンドブレーキを使うと補助力（駆動力）がなくなりブレーキになりますので必要なとき以外はブレーキレバーに触れないようにしてください。

・下り坂の途中で万一、介助者が手を離しても車いすが一定の速度[注3)]を越えると安全ブレーキが作動し、速度が抑えられます。

注 1）一定以上の力で押す、または引いた場合に作動します。

注 2）安全機能とは、上り坂の途中で停止した時など長時間車輪がロックした状態で大きな電流が発生している時に機器を保護するための機能です。

注 3）安全ブレーキは、時速 6km/h（速足程度）以上で作動します。

構成

アシストホイールは、介助用手動車いすに次のような機構を組み込んだものです。

・ハンドル部

車いすを押し引きしているときの力をセンサーが検知します。

・制御部

ハンドル部の押し引きの信号を受けてモーターを駆動する信号を送ります。

・駆動部（モーター・ギヤー）

制御部から信号を受けて、駆動力（またはブレーキ力）を発生して車輪に伝えます。

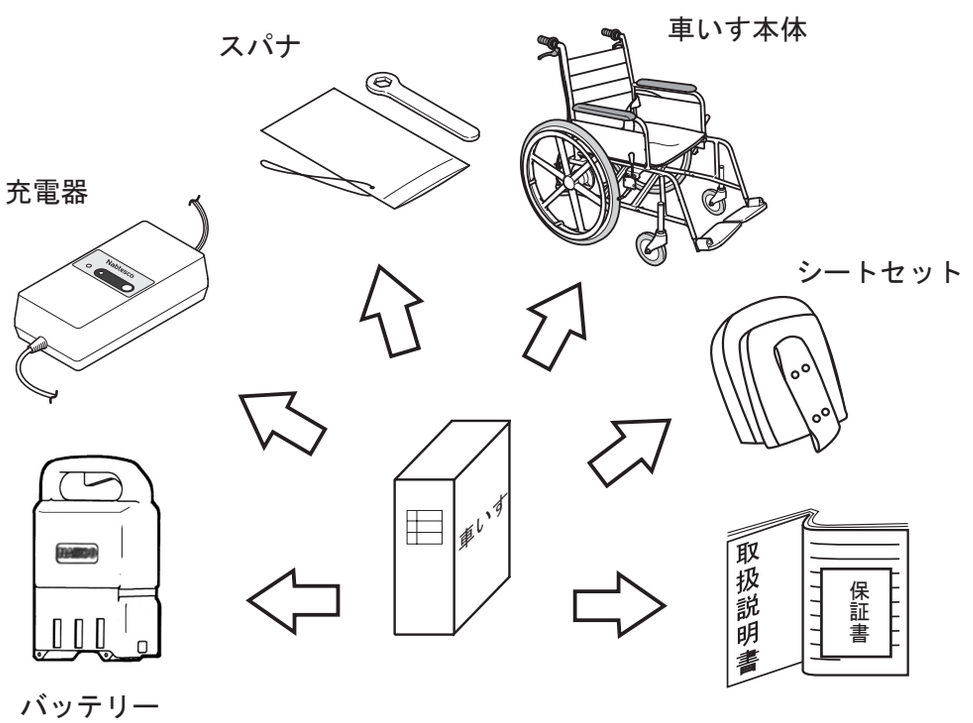
・バッテリー部

制御部から送られてきた信号に従って電流を流します。
（モーターを駆動するための電気をためておきます。）

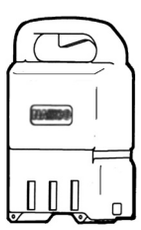
ご使用になる前の準備

梱包の内容を確認してください

標準梱包の場合



ご要望があった場合



予備バッテリー

段ボール箱を開き、内容品の確認をしてください。
（なお、標準梱包には、予備バッテリーは含まれておりません。ご要望があった場合のみ別途有償にて梱包いたします。）

内容物に違いがあった場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。

要点

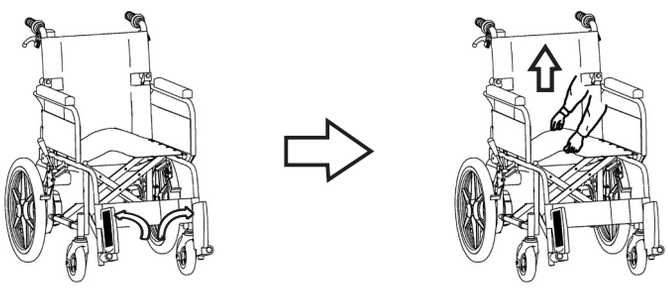
同封のバッテリーは安全上のため、充電はしておりません。ご使用前に必ず充電してください。
（バッテリー充電方法の項 P22 ～ P27 を参照）

各部の使用方法

1 車いすの折りたたみかたと開きかた

注意 車いすを開くとき、たたむときにはフレームに手を挟まないように注意してください。(P5 参照)

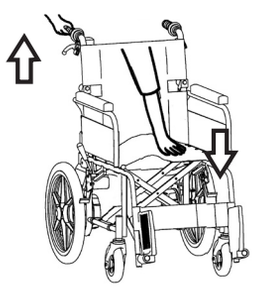
折りたたみかた



フットレストを矢印の方向に折りたたみます。

座シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げて、次にハンドル部を合わせます。

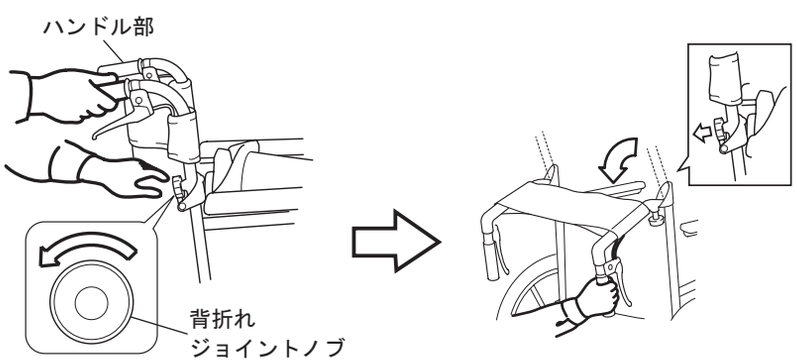
開きかた



片側の車輪を少し浮かせて、車輪を浮かせていない側の座シートを、手の平で押して開きます。

2 背折れジョイント部の折りたたみおよび固定のしかた

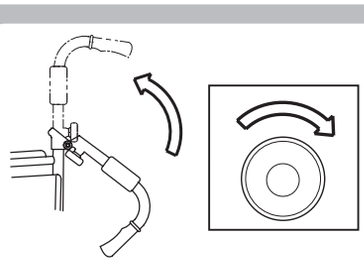
折りたたみかた



背折れジョイントノブを矢印の方向に回してロックを解除させます。

背折れジョイントノブをひっぱりながら、ハンドル部を握り矢印の方向に倒します。

固定のしかた



・ハンドル部を握り矢印の方向に押し上げてください。

・背折れジョイントノブを時計方向に回してノブをしっかりと締めます。
完全にロックされたことを確認してください。

注意 ロックが解除される恐れがありますので、背折れジョイントノブにかばんなどを掛けないでください。

3 ブレーキの使用方法

駐車ブレーキ（タックルブレーキ　左右 2 ヶ所操作）

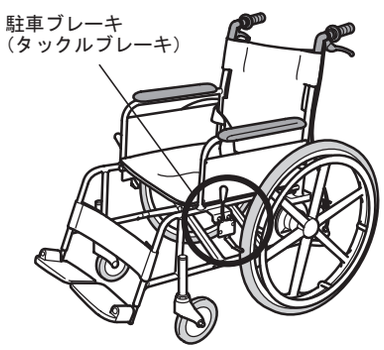
警告

傾斜のある路面での駐車は行わないでください。
駐車する時は必ず平地で行うようにしてください。

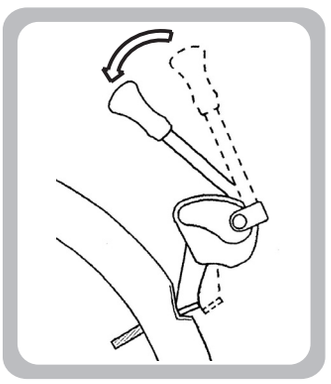
警告

タイヤの空気圧（16 インチ駆動輪）
250kPa{2.5kgf/cm²} 、大人が親指で押して少しへこむ程度

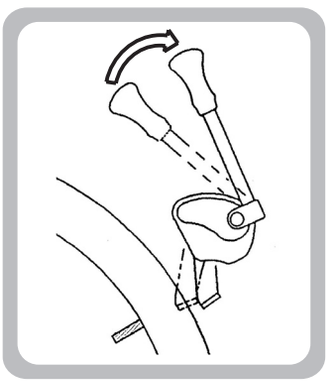
駐車ブレーキでタイヤがロックします。
レバーを後ろへ引くとロックします。前へ押すと解除します。



ブレーキロック

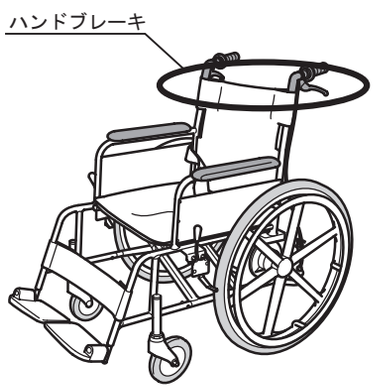


解除

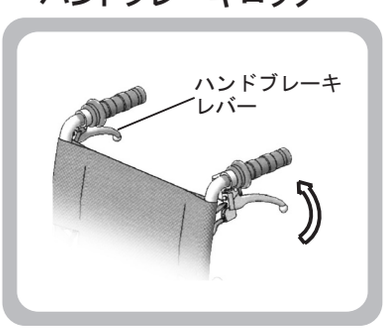


ハンドブレーキ（左右 2 ヶ所操作）

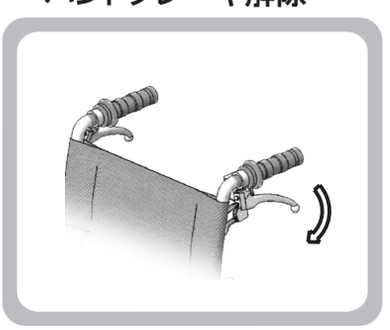
ハンドブレーキレバーを握ってください。握る強さに応じて、ブレーキが効きます。



ハンドブレーキロック



ハンドブレーキ解除



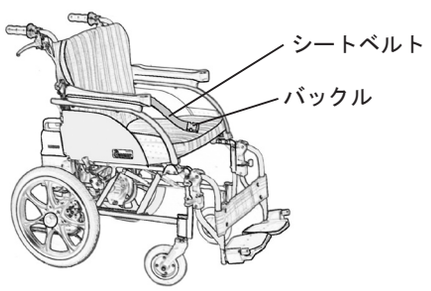
注意

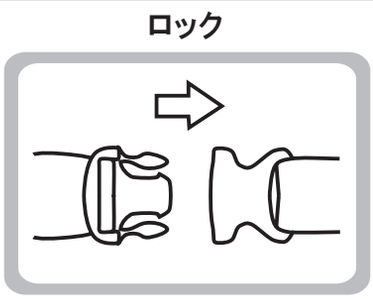
駐車ブレーキおよびハンドブレーキをご使用になるときは、必ず両側を同時に作動させてください。車いすが動き、バランスをくずして転落事故の原因となります。

4 シートベルトの使用方法

警告 搭乗者の安全確保のためシートベルトを着用してください。
本シートベルトは、屋外で使用する場合、坂道などで搭乗者がすべり落ちないようにするためのものです。

注意 バックルが確実にロックされていなかったり、緩みが大きいとシートベルトの機能が発揮されません。バックルをしっかりとロックして、ベルトを締めてください。

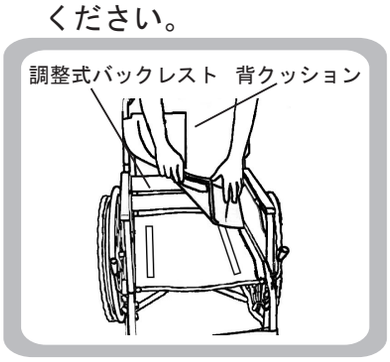




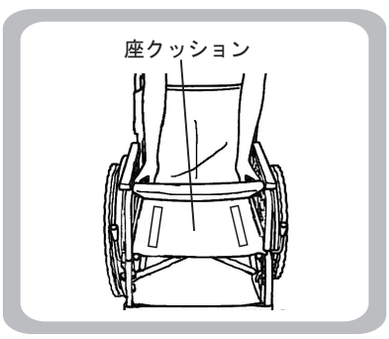
車いすに深く腰を掛け、バックルを「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
差し込んだ後、確実にロックされていることを確認してください。
ベルトの緩みがないよう長さを調節してください。

5 クッションシートの取付方法

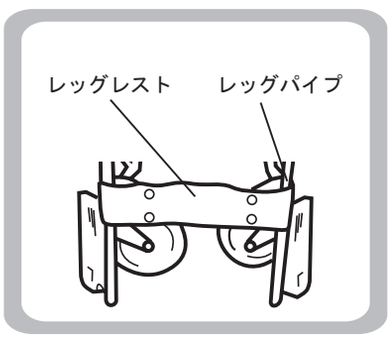
①調整式バックレスト（背張り調整機能）のベルトの張りをお好みに合わせ、背クッションを調整式バックレストを挟むようにして固定してください。



②座クッションを、シートの上に固定してください。



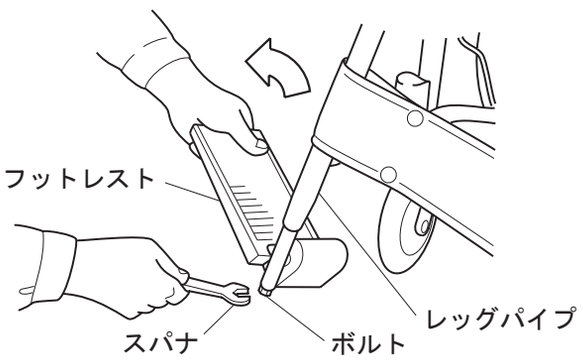
③レッグレストをレッグパイプに巻いて固定してください。



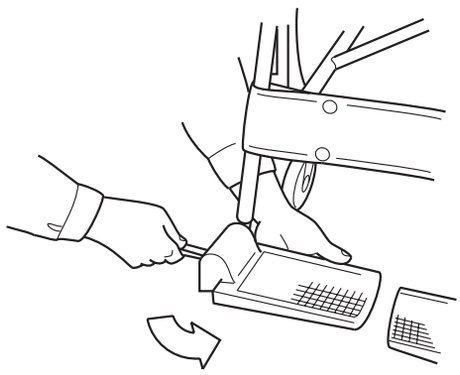
警告 背クッション・座クッションのマジックテープは確実に固定してください。
固定していないと、シートがズレて、転倒事故の原因となります。

警告 マジックテープに付いた糸くずや汚れは定期的に取り除いてください。
固定力が弱くなり衝撃を受けたときなどに外れて、転倒事故の原因となります。

6 フットレストの調整



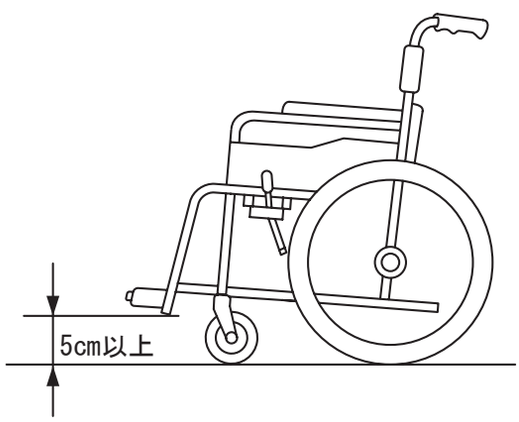
フットレストを外側に少し倒し、付属品のスパナでレッグパイプの先端ボルトをフットレストが少し動くところまで緩めてください。



フットレストを矢印方向へ回転させて高さ調節を行い、先端ボルトを完全に締めてください。

注意

フットレストの先端（ボルトまたはノブの下端）の高さは地面より 5cm 以上でご使用ください。
低すぎると凹凸路面や障害物にフットレストが当たり、転倒する危険があります。

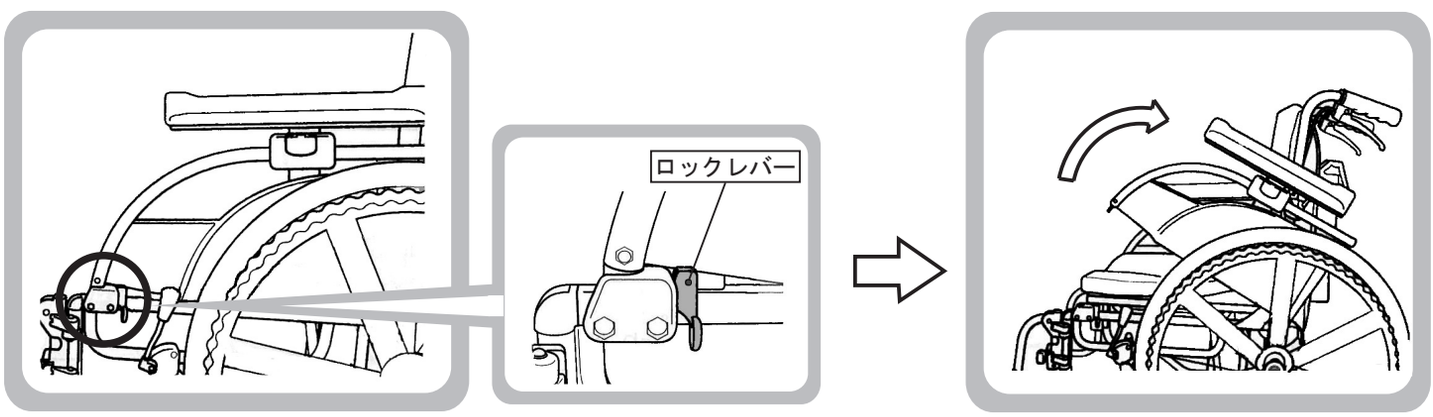


7 移乗時のアームレストスイングアップおよび着脱方法（DT 型）

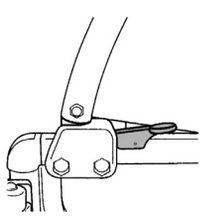
警告 **アームレストのスイングアップ・着脱は、 必ず駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。**

スイングアップをするとき

ロックレバー部を矢印の方向に起こして、アームレストを後方に上げてください。



（解除した状態）



スイングダウンをするとき（元に戻すとき）

アームレストを下ろして、ロックレバーを元の位置に戻してください。

警告 走行する前は、ロックレバーのロックピンが完全にロックされていることを確認してください。

警告 搭乗者の乗り移り時以外は、必ずアームレストを下ろした状態で使用してください。
転落事故の原因となります。

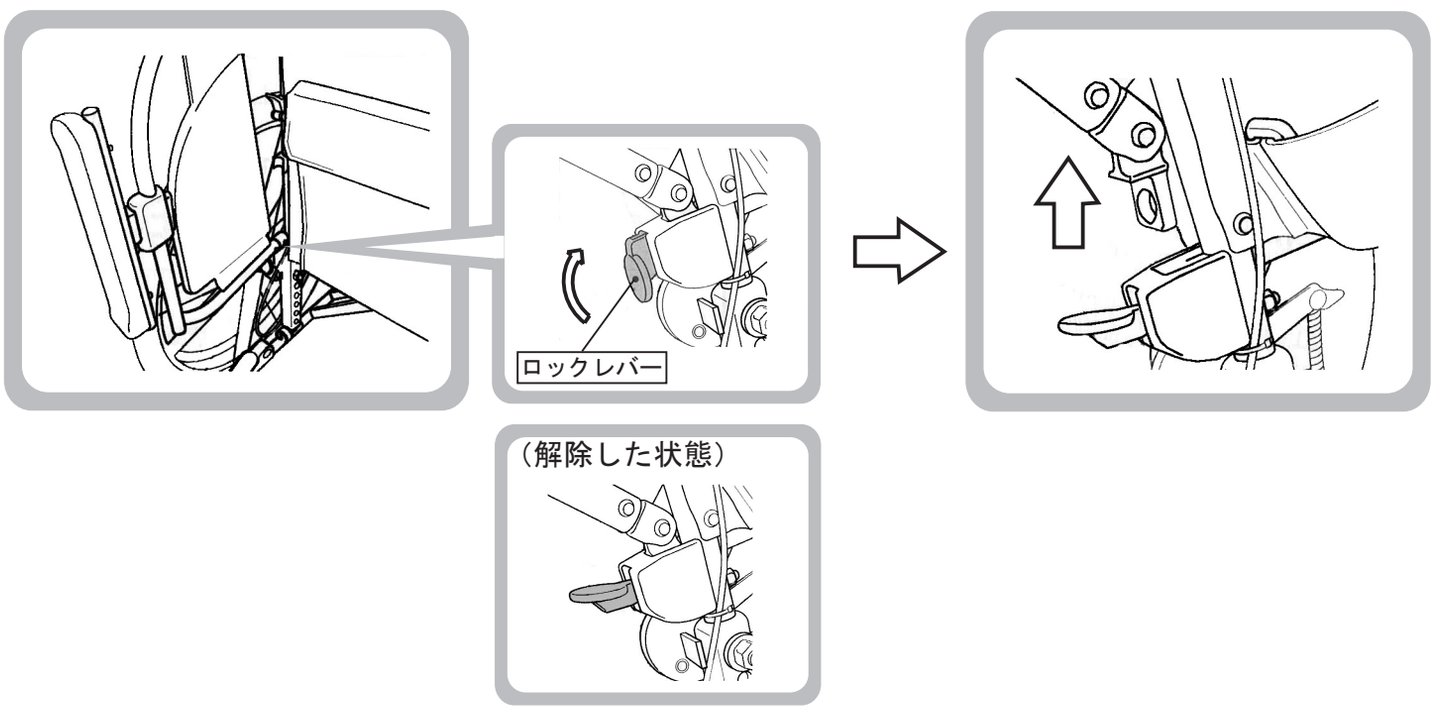
警告 アームレストを持って車いすを持ち上げないでください。
バランスをくずして、倒れて危険です。

警告 **アームレストのスイングアップ・着脱は、 必ず駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。**

取りはずすとき

スイングアップを行った後に次のように取りはずして下さい。

ロックレバー部を矢印の方向に起こして、上に持ち上げてはずしてください。

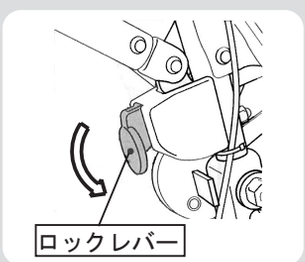


取りつけるとき

アームレストを差し込み、ロックレバーを元の位置に戻してください。

警告 走行する前は、アームレストをしっかりと差し込み、
必ずロックレバーを元の位置に戻してください。

警告 乗り移りのとき以外は、必ずアームレストを取りつけた状態で使用してください。
転落事故の原因になります。

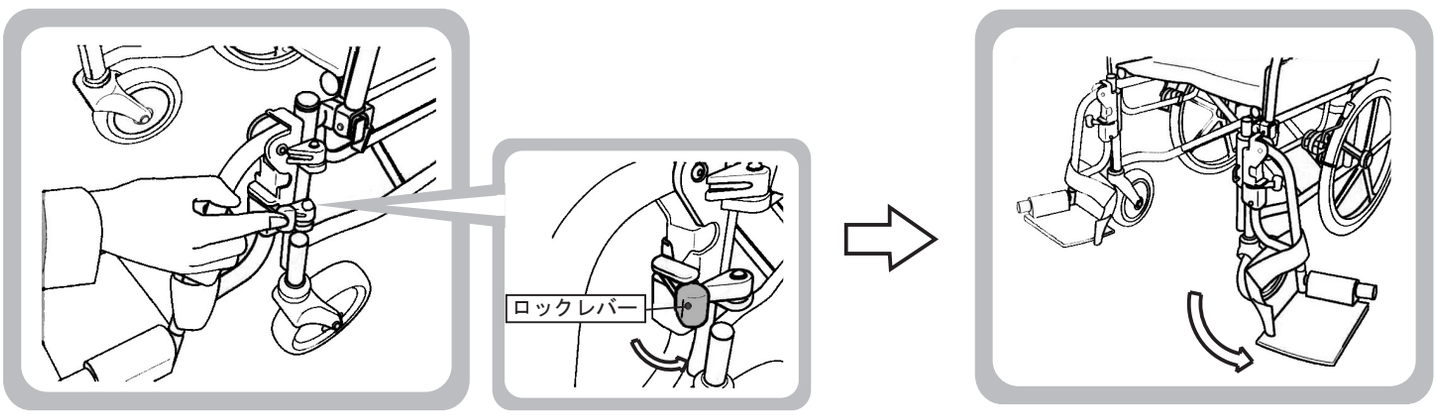


8 フットレストのスイングアウトおよび着脱方法（DT 型）

警告 **フットレストのスイングアウト・着脱は、 必ず駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。**

スイングアウトをするとき

レッグレストを中央で分割して、ロックレバーを解除してフットレストを外へ回転させます。



スイングインをするとき（元の位置に戻すとき）

フットレストを内へ回転させて、ロックレバーで固定されたことを確認してください。

警告 走行する前は、ロックレバーが確実にロックされていることを確認してください。

警告 必ずレッグレストを取りつけた状態で使用してください。足がキャスターにあたり危険です。

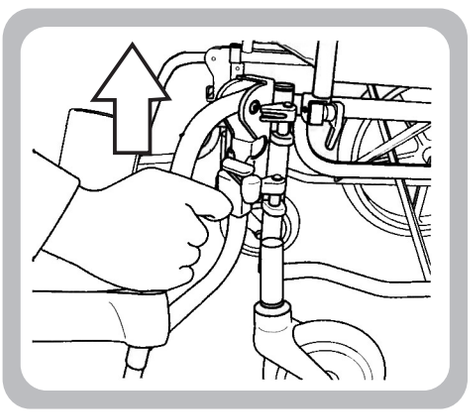
警告 フットレストを持って車いすを持ち上げないでください。バランスをくずして、倒れて危険です。

警告 走行する前は、搭乗者の足がフットレストに正しくのっているかを必ず確認してください。

警告 **フットレストのスイングアウト・着脱は、 必ず駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。**

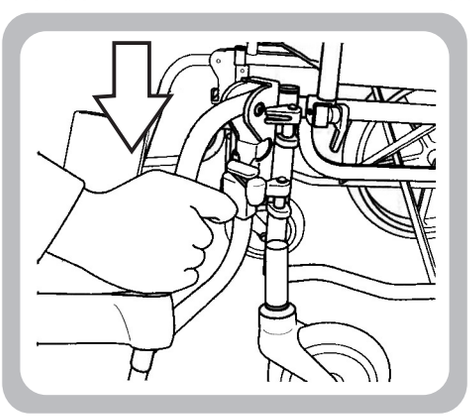
取りはずすとき

スイングアウトした状態からフットレストを上方へ抜きます。



取りつけるとき

本体側の 2 つピンにフットレスト側の穴を合わせて、取りつけます。



警告 走行する前は、ロックレバーが確実にロックされていることを確認してください。

警告 必ずレッグレストを取りつけた状態で使用してください。足がキャスターにあたり危険です。

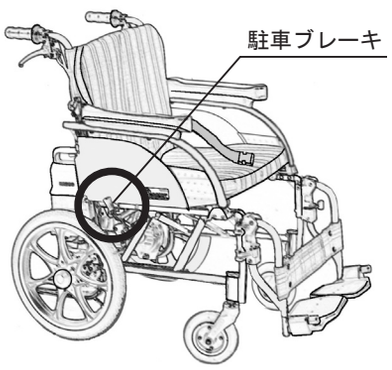
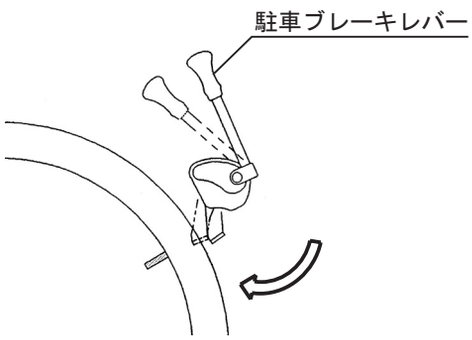
警告 フットレストを持って車いすを持ち上げないでください。バランスをくずして、倒れて危険です。

警告 走行する前は、搭乗者の足がフットレストに正しくのっているかを確認してください。

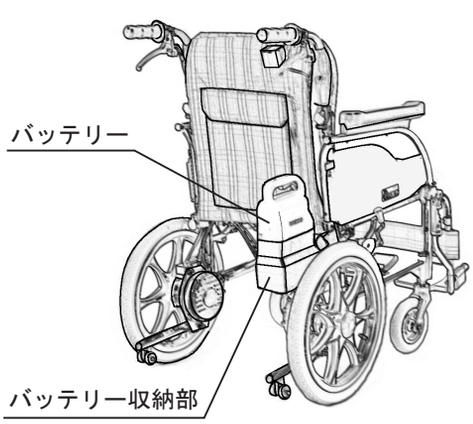
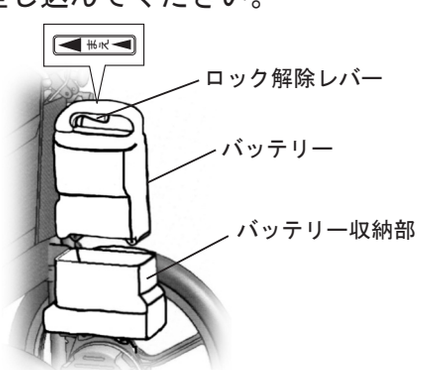
アシストホイールの操作方法

お使いになる前の準備が終わりましたら、次の手順に従って操作してください。

1 駐車ブレーキをかける

操　作　内　容	操　作　状　態
駐車ブレーキを操作し、車いすが動かないように固定してください。  	駐車ブレーキレバーを手前にロックするまで引いてください。(P12 参照) 

2 バッテリーを取り付ける

操　作　内　容	操　作　状　態
充電“済”の「バッテリー」を「バッテリー収納部」に入れてください。  	バッテリーには ⊕ ⊖ の極性があり、接続方向が決まっているため正しい位置に、しっかりと奥まで差し込んでください。  **強制** 右図のような「方向指示マーク」の矢印の方向を前側に差し込んでください。

強制 バッテリーの取手をしっかりと握ってバッテリー収納部に差し込んでください。(握ることでロック解除レバーが作動します。)
バッテリーを取りはずす場合は、必ず電源を切ってください。

3 電源を入れる・電源を切る

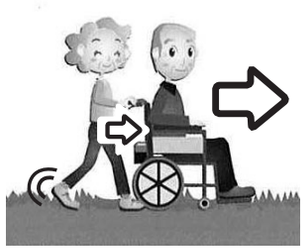
操　作　内　容	操　作　状　態
1）電源を入れる 「電源スイッチ」の㊟ボタンを「残量表示ランプ」が点灯するまで押しつづけてください。 **2）電源を切る** 「電源スイッチ」の㊟ボタンを「残量表示ランプ」が消灯するまで押しつづけてください。	1)「残量表示ランプ」が点灯します。 ※ランプの内容については P21 の「残量表示ランプの内容」をご参照ください。 2)「残量表示ランプ」が消灯します。

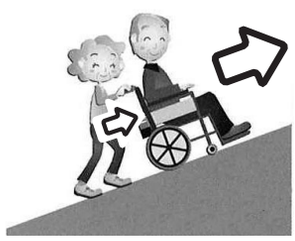
4 運転する

※以下の操作は、必ず駐車ブレーキのロックを解除してから行ってください。

操　作　内　容

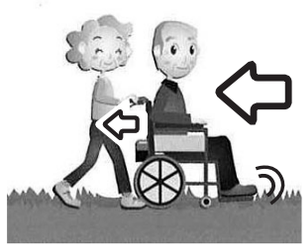
1）前進する（平地を進む、坂を上る）
手動の車いすと同じように、左右のハンドル部を軽く押すようにして歩いてください。



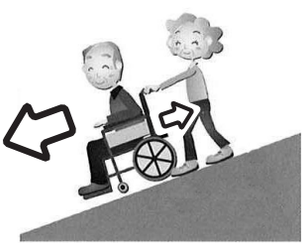


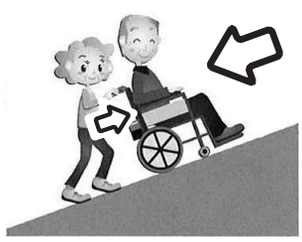
2）後進する
手動の車いすと同じように、左右のハンドル部を軽く引くようにして歩いてください。

3）旋回する
手動の車いすと同じように、片方のハンドル部を軽く押してもう一方のハンドル部を軽く引いてください。



4）坂を下る
①前向きに下る
手動の車いすと同じように、坂を前向きに下るときには左右のハンドル部を軽く引くようにして歩いてください。
②後向きに下る
手動の車いすと同じように、坂を後向きに下るときには左右のハンドル部を軽く押すようにして歩いてください。





5）停止する
手動の車いすと同じように、前進の場合はハンドル部を軽く引くように止まってください。後進の場合はハンドル部を軽く押すように止まってください。
急に止まる場合や坂の途中で停止するときはハンドブレーキをかけてください。

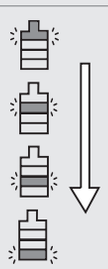
注意 走行中はハンドブレーキに触れないようにしてください。
ハンドブレーキを使うと補助力（駆動力）が徐々になくなります。

注意 電源を切っても車いすと同じようにご使用いただけますが、モーターによる補助力が得られませんので、搭乗者を乗せて坂の上り下りをする場合は十分にご注意ください。

要点 搭乗者なしで走行する場合、一時的にブレーキがかかることがあります。電源を切って走行すればブレーキはかかりません。（電源が入った状態では車いすの急な動きに対し、安全ブレーキが作動するよう設計されているためです。）

残量表示ランプの内容

	正常時	4 個点灯
	バッテリー残量約 3/4	3 個点灯
	バッテリー残量約 1/2	2 個点灯
	充電警告（バッテリー残量約 1/4）	1 個ゆっくり点滅（0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯） ・できるだけ早く充電してください
	バッテリー残量なし	1 個速い点滅（0.1 秒点灯 /0.1 秒消灯） ・ご使用をやめてすぐに充電してください
	バッテリー未接続	点灯なし ・バッテリーを差し込んでください ・点灯しない場合はお買い上げの販売店または当社にご連絡ください

	右側ハンドル部の断線	上から 2 つ目が速い点滅（0.1 秒点灯 /0.1 秒消灯） ・お買い上げの販売店または当社にご連絡ください
	左側ハンドル部の断線	上から 3 つ目が速い点滅（0.1 秒点灯 /0.1 秒消灯） ・お買い上げの販売店または当社にご連絡ください
	安全機能[注 1)] の作動	上から流れるように点滅をくり返す ・前進方向への補助力は徐々になくなりブレーキがかかりますので坂の途中では坂を下り平地に行き、電源を切ってください なお、再度電源を入れれば正常にもどります

注 1）上り坂の途中で停止した時など長時間車輪がロックした状態で大きな電流が発生している時に機器を保護するための安全機能です。

注意 遠くへお出かけの際には必ずバッテリーを満充電にして使用してください。

注意 残量表示ランプはバッテリーの使用状況や環境によって正しく表示されない時がありますので残量には余裕をもって使用してください。

要点 オートパワーオフ機能があり、操作をしない状態が 15 分間続くと自動的に電源が切れます。ご使用になるときは再度電源を入れてください。

要点 ハンドリムを回して移動する際には電源を切ってください。(NAW-22C-HP-G 型のみ)
電源が入っている場合はモーターの制動力により動きにくく感じます。

NAW-22C 型

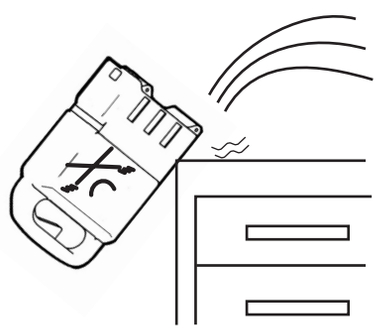
バッテリー充電方法

1 バッテリー充電時の注意事項

充電操作をする前に、次の注意事項をよく読んで理解したうえで、充電を行ってください。

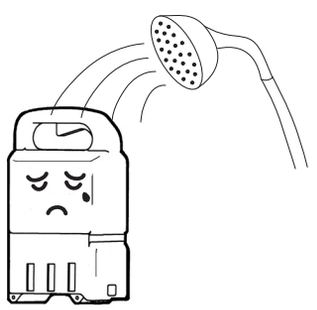
警告 バッテリー充電には、アシストホイール専用充電器以外使用しないでください。漏液、発熱、破裂の原因となります。

禁止



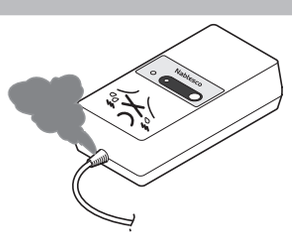
バッテリーおよび充電器は落としたり、衝撃を加えたりしないでください。
充電不良および損傷の原因になります。

禁止



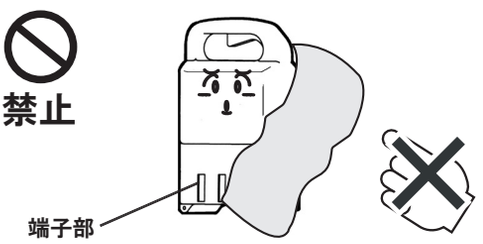
バッテリーおよび充電器を保管する場合は、湿気や水滴が当たる場所に保管しないでください。
充電不良の原因になります。

強制



充電中にランプが 2 色とも点滅したときや赤ランプが点滅したときは、異常を表しています。
直ちに AC コードプラグを抜いてバッテリーから充電コネクターをはずし、充電を中止してください。
機器の損傷や、火災の恐れがあります。

禁止

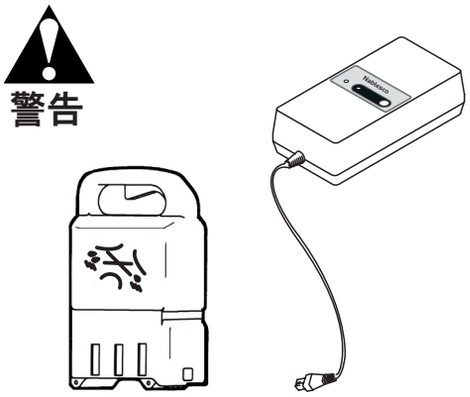


バッテリーおよび充電器の上や周りには、物を置かないでください。
充電中に充電器が発熱し、充電機能を低下させることがあります。
また端子部に物を入れたり、触れたりしないでください。
故障の原因になります。

警告

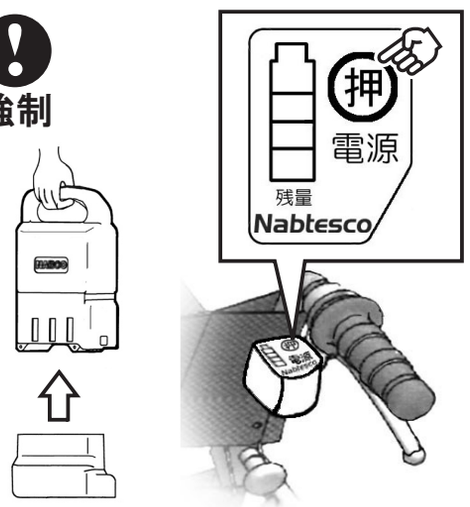
バッテリーの分解、改造、加熱、ショート、火中への投入は絶対にしないでください。破裂、発火の恐れがあります。

警告



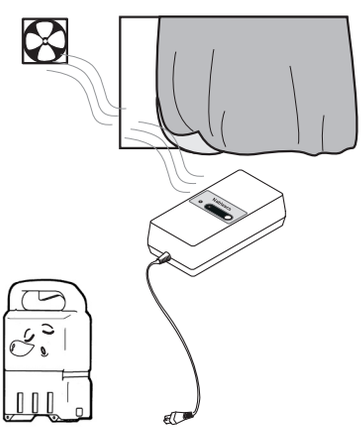
幼児やペットがいたずらしそうな場所では充電しないでください。

強制



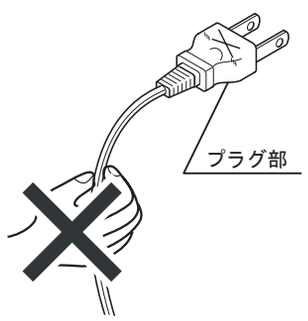
バッテリーを車体から取りはずすときは、電源を必ず切ってから、取手部をしっかり握って上に引いてください。

強制



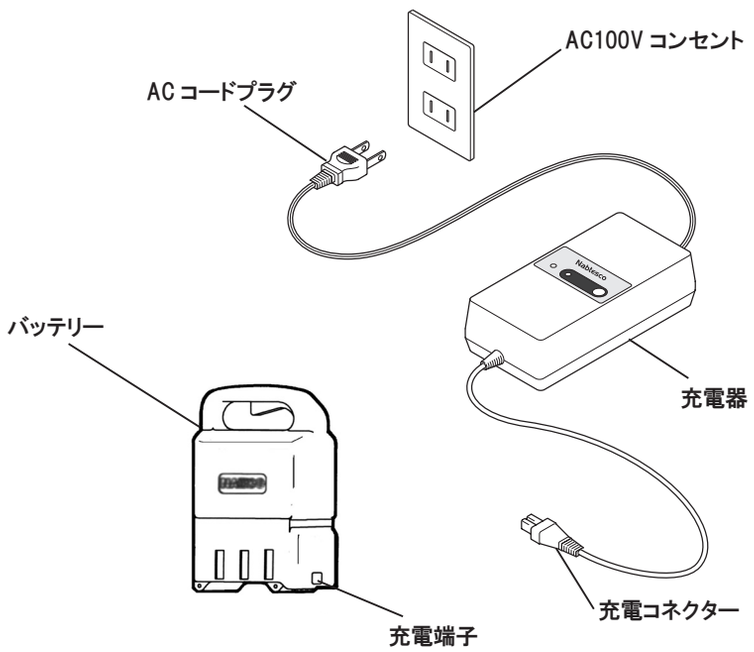
充電は、平坦で風通しがよく、充電中の温度が 10 ～ 30℃に保たれている場所で行ってください。
充電器の機能低下を招く恐れがあります。

禁止



AC コードを抜くときには、コードを持たずにプラグ部分を持ってください。

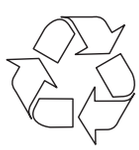
2 バッテリー・充電器各部の名称



バッテリーの長期保管

①バッテリーはできるだけ満充電で保管してください。自己放電によるバッテリーへの影響が緩和されます。
②バッテリーを長期間保管すると、自己放電によりバッテリー容量が減りますので、再充電してご利用ください。なお、1 年を越えるような保管の場合は、1 回の充電では保管前の状態に戻らないことがありますので、ご使用前に始めに充電してからリフレッシュ充電を行ってください。

バッテリーの交換


Ni-MH

アシストホイールに使われているバッテリーは、寿命がきて使えなくなってもリサイクル可能なバッテリーです。
バッテリーの寿命がきたとき、および保証期間経過後は、有償で新品交換をいたします。
旧品は、新品配達時の箱に入れて、販売店または当社宛てにご返却願います。

＜連絡先および旧品返却宛先＞

ナブテスコ株式会社
住環境カンパニー　福祉事業推進部
サービスセンター

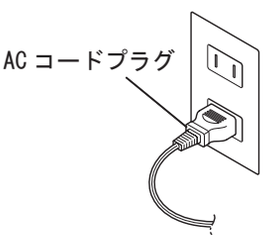
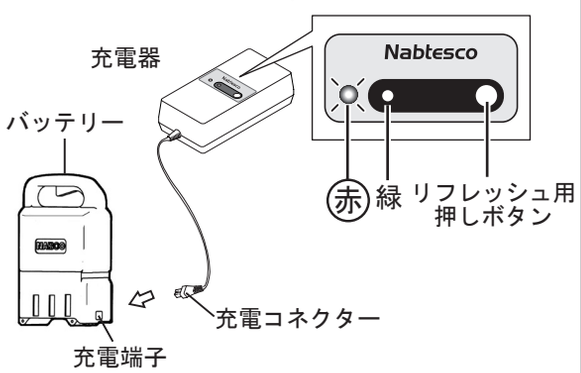
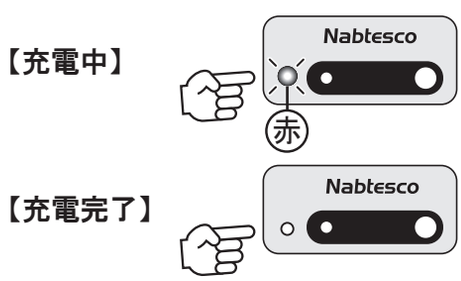
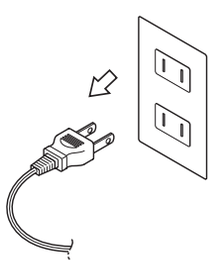
〒 658-0024　神戸市東灘区魚崎浜町 35
TEL（078）413-2724　FAX（078）413-2725

要点　バッテリー寿命は、充電回数で約 500 回です。ただし、使用内容や使用環境などにより異なります。

3 充電の手順

バッテリーの充電方法は次の 2 つがあります。
・通常の「充電」
・「リフレッシュ充電」

通常の充電の手順

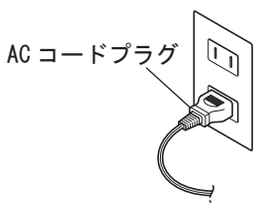
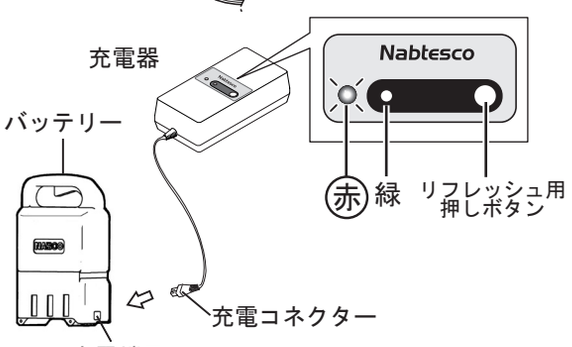
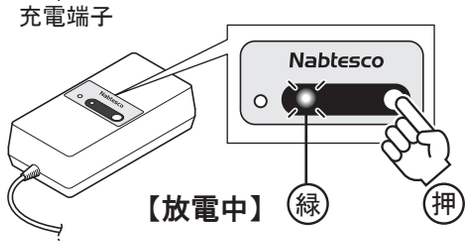
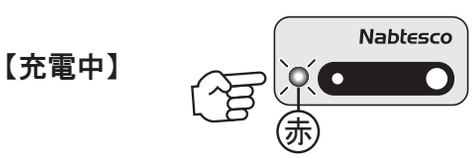
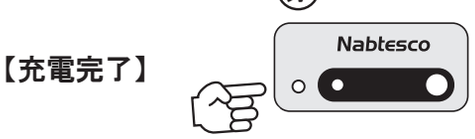
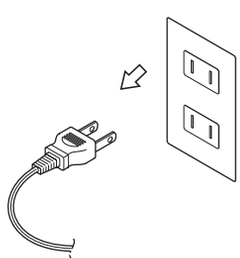
操　作　内　容	操　作　状　態
1 充電器の AC コードプラグを 100V コンセントに差し込んでください。	
2 バッテリーの充電端子に充電器の充電コネクターを接続してください。 充電器の表示ランプ（赤色）が点灯し、充電を開始します。	
3 充電が完了すると、表示ランプ（赤色）が消灯します。 約 120 分で充電が完了します。 （充電時間はバッテリーの使用状況や環境により異なります。）	
4 充電が完了したら ・100V コンセントから AC コードプラグをはずしてください。 ・充電コネクターをはずしてください。	

強制 バッテリーを車いすから外すときは電源を必ず切ってください。（P20 参照）

強制 充電端子に充電コネクターを正しい方向で接続してください。

リフレッシュ充電の手順

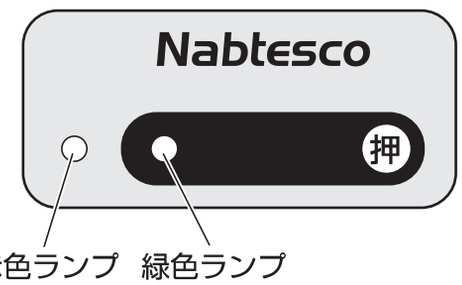
リフレッシュ充電は、放電と充電を自動的に行う方法です。
完全に放電させてから充電を行うことで、バッテリーの性能を回復させて走行時間の低下を防ぐことができます。
月に 1 回程度を目安に、リフレッシュ充電を行ってください。

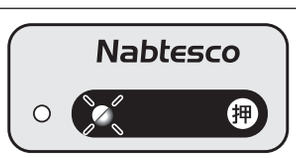
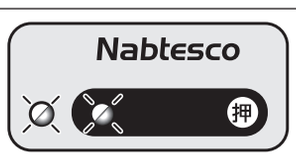
操　作　内　容	操　作　状　態
1 充電器の AC コードプラグを 100V コンセントに差し込んでください。	
2 バッテリーの充電端子に充電器の充電コネクターを接続してください。 充電器の表示ランプ（赤色）が点灯し、充電を開始します。	
3 充電器の押ボタンを押してください。 赤色ランプが消え緑色ランプが点灯し、放電を開始します。	
4 放電が完了すると、緑色ランプが消灯し赤色ランプが点灯し、充電を開始します。	
5 充電が完了すると赤色ランプが消灯します。 リフレッシュ充電は 2 ～ 7 時間で完了します。	
6 充電が完了したら ・100V コンセントから AC コードプラグをはずしてください。 ・充電コネクターをはずしてください。	

要点

放電中にコンセントを抜き差ししたり、停電（約 2 秒以上）したときは、停電復帰後、通常充電になります。
放電は完了していませんので、もう一度リフレッシュ充電を行ってください。

4 充電器表示ランプの状態説明



バッテリー未接続 充電完了		赤ランプ	消灯
		緑ランプ	消灯
リフレッシュ中		赤ランプ	消灯
		緑ランプ	**点灯**
充電中		赤ランプ	点灯
		緑ランプ	**消灯**
充電待機中		赤ランプ	ゆっくり点滅 (0.5 秒点灯 /1 秒消灯)
		緑ランプ	消灯
バッテリー異常		赤ランプ	速い点滅 (0.2 秒点灯 /0.2 秒消灯)
		緑ランプ	消灯
リフレッシュ待機中		赤ランプ	消灯
		緑ランプ	ゆっくり点滅 (0.5 秒点灯 /1 秒消灯)
充電器　異常温度		赤ランプ	ゆっくり点滅 (0.5 秒点灯 /1 秒消灯)
		緑ランプ	ゆっくり点滅 (0.5 秒点灯 /1 秒消灯)
充電器　異常		赤ランプ	速い点滅 (0.2 秒点灯 /0.2 秒消灯)
		緑ランプ	速い点滅 (0.2 秒点灯 /0.2 秒消灯)

P 28 を参照
ください。

“おかしいな”と思ったら

おかしいなと思ったら、 次のことを調べてください

車いす走行のとき

状況	調べること	処置
車いすを押すのに大きな力が必要（重く感じる）	駐車ブレーキまたはハンドブレーキがかかっていませんか。	・ブレーキを解除してください。
	残量表示ランプは点灯していますか。	・バッテリーを正しく装着してください。 ・電源を入れてください。
	バッテリーが充電されていますか。	・バッテリーを充電するか充電されたバッテリーに交換してください。
	残量表示ランプが2つ以上点灯していますか。	
	残量表示ランプが点滅していませんか。	・ P21 の「残量表示ランプの内容」をご確認のうえ処理を行ってください。
	上記の対策で解決しない場合	・お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
まっすぐ走れない	・ハンドル部を押すと、左右の車輪が回りますか。 ・片方のみ回っていませんか。	・お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
走行距離が短い	バッテリーは十分充電されていますか。	・充電されたバッテリーに交換してください。 ・バッテリーをリフレッシュ充電してください。
警告 駐車ブレーキまたはハンドブレーキの効きが甘い	速やかに、右の処置を行ってください。	・お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
警告 煙が出たり異臭がする	速やかに、右の処置を行ってください。	・電源を切ってください。 ・バッテリーをはずしてください ・お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
警告 ハンドブレーキをかけてもモーターが止まらない。	速やかに、右の処置を行ってください。	・当社にご連絡ください。

バッテリー充電のとき

状況	調べること	処置
充電されない	ACコードプラグが接続されていますか。	AC100Vコンセントに接続してください。
充電がすぐ終わる	充電済みのバッテリーではありませんか。	再充電して同じようであれば充電完了です。
充電待機中	・走行直後などでバッテリーの温度が高くありませんか。 ・炎天下などで周囲温度が高くありませんか。	・温度が下がると赤または緑ランプが点灯に変わり充電または放電を開始します。 ・涼しいところで充電してください。
リフレッシュ待機中		
警告 表示ランプが速い点滅をしている （速い点滅･･･0.2 秒点灯 /0.2 秒消灯）	バッテリーまたは充電器が異常です。 速やかに充電を止め、右の処理を行ってください。	・ AC100VコンセントからACコードプラグをはずしてください。 ・バッテリーから充電コネクターをはずしてください。 ・お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
警告 煙が出たり異臭がする		

日常の点検・お手入れと保管方法

1 日常の点検

日常の点検

安全にご使用いただくために、ご使用前に下記の点検をお願いします。

警告 下記の点検で異常が見つかった場合には、転落などの事故の原因になりますので、ご使用を止めて、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

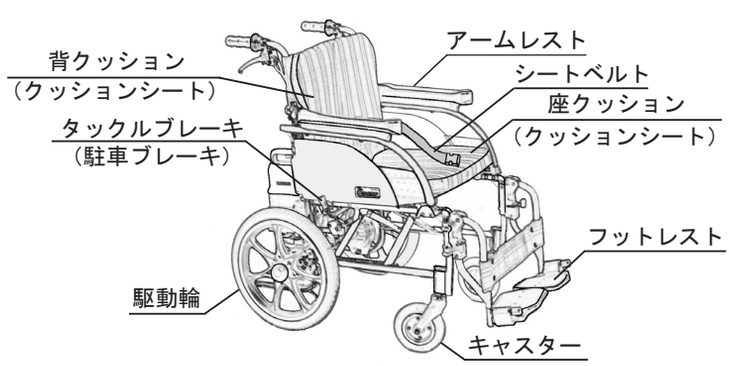
警告 点検の際には、電源を切ってからバッテリーを外してください。ただし、走行中の点検内容は除きます。また、人が搭乗していない状態で点検を行ってください。

注意 点検時は、すき間などに手を挟まないようにご注意ください。

要点 1 週間に一度は定期点検として、より細かく点検してください。

点検内容

- 走行中や折りたたみ動作時などに異常なガタはないか？
- 走行中にキシミ音やこすれ音などの異常な音がしないか？
- タイヤは適正な空気圧になっているか？（P12 参照）
- 駐車ブレーキおよびハンドブレーキは正常に作動するか？（P12 参照）
- シートベルトはきちんとロックされているか？（P13 参照）
- アームレストがきちんとロックされているか？（P15, 16 参照）
- フットレストがきちんと固定されているか？（P17, 18 参照）
- クッションシートは正常に固定されているか？（マジックテープに糸くずなどが付着していないか？）
- 各部のボルト、ナット、ビス、リベットに緩みがないか？
- その他各部に下記のよう異常が無いか？
  アームレストとフットレストのガタ・変形、タイヤのひび割れ・劣化、
  駆動輪やキャスターのひび割れ・変形、フレームのひび割れ・変形



2 日常のお手入れ

いつまでもきれいにご使用いただくために、日常のお手入れは欠かさず行ってください。

警告 お手入れの際には、電源を切ってからバッテリーを外してください。
また、人が搭乗していない状態でお手入れを行ってください。

注意 お手入れ時は、すき間などに手を挟まないようにご注意ください。

注意 バッテリー収納部の端子には触れないでください。端子が変形して接触不良の原因になります。

禁止 ボルト・ナットの締結部品をゆるめたり、部品を分解したりしないでください。

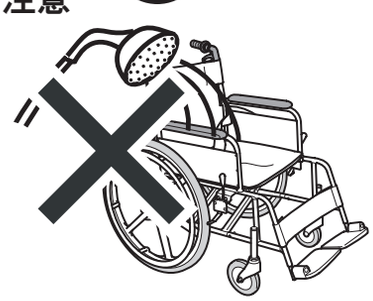
禁止 配線ケーブルを無理に引っぱったりしないでください。断線などの原因になります。

・フレームは「サビ」ることがありますので、ときどき乾いた布で拭いて、汚れを取り除いてください。

・シートが汚れたときには、水を含ませ強く絞ったタオルなどですぐに拭き取ってください。

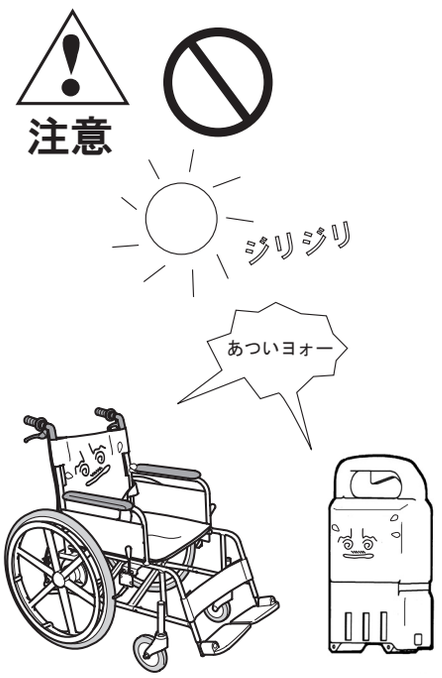
・バッテリーの接触不良を防ぐために、バッテリーの接点を乾いたタオルで片方ずつ拭いてください。

注意



汚れを落とす場合は、水や薬品を絶対にかけないでください。
（電子部品を使用しておりますので電気系統に水が入りますと、作動不良になったり安全を損なうことがあります。）

3 保管方法



- 車いすを使用しないときは、バッテリーを必ずはずし、駐車ブレーキをかけておいてください。（子供や、操作を知らない人が操作すると危険です。）
- 車いすは砂ぼこりなどがかからないように保管してください。
- 車いすは直射日光が当たる所、雨に濡れる所、湿気の多い所を避けて保管してください。
- バッテリーは、湿気の多い所や、高温になる所を避けて保管してください。
- バッテリーを長期保管する場合は、満充電で保管してください。（P24 参照）

製品概要

介助用《電動補助装置付き》車いす

名称	アシストホイール®（介助用《電動補助装置付き》車いす）		
駆動輪サイズ	16 インチ		22 インチ
型式名	NAW-16C-DT-HP-G	NAW-16C-SD-HP-G	NAW-22C-SD-HP-G
アームレスト	スイング・着脱	固定	固定
フットレスト	スイング・着脱	固定	固定
本体外形寸法（全長×全幅×高さ/mm）	1,000 × 590 × 880	980 × 615 × 870	1,050 × 655 × 870
折りたたみ時の全幅（mm）	330	330	380
質量（kg）	24.2	22.7	24.6
制御方式 / 駆動方式	マイコン制御 / 電動モータ駆動		
電源	ニッケル水素電池　24V 3.2Ah		
実用登坂角度	14°　（速度　約 2km/h）注 1)		
走行距離	連続走行距離 8km　（速度　約 4km/h）注 2)		
使用温度範囲	0 ～ 40℃（ただし結露のないこと）		
使用者最大体重	100kg（積載物も含む）		

注 1）充電済バッテリー（新品）、周囲温度：約 25℃、搭乗者体重：75kg の時
注 2）1）の条件で、テストパターン走行の時（直線平坦路：13%、3°上り：43.5%、3°下り：43.5%）
注 3）背張り調整機能、クッションシート、背折れ機能、転倒防止輪、シートベルトは標準装備

充電器

電圧（AC 100V）	AC100V・50/60Hz
定格出力（DC 出力）	DC28V　1.65A
充電時間	約 120 分（周囲温度 20℃）
使用温度範囲	0～40℃（ただし結露のないこと）
使用電池	NAW- 専用バッテリー (Ni-MH 24V 3.2Ah)

記載内容や仕様などは、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証とアフターサービスについて

保証について《保証規定》

保証期間はお買い上げ日より１年間です。

ただし、以下の故障、損傷などは無償修理の対象外とします。
ア）使用方法の誤り、重大な不注意、手入れ不良による場合。
イ）無断仕様変更、改造による場合。
ウ）専用部品以外のものを使用して起きた場合。
エ）災害など当社の責任外の原因による場合。
オ）タイヤの摩耗、シートの破れ、ブレーキ用ワイヤーなどの消耗品、
　　各部の劣化による故障、損傷の場合。
カ）取扱説明書、注意書きなどに示す正しい方法と異なる使用、
　　または仕様・性能の限度を越える使用による場合。
キ）実費修理に要する運賃などの諸経費。
ク）保証書の提示がない場合。

また、ご利用者の急激な体調の変化など、ご利用者側の事情の変化によって事故が発生した場合も責任負担はご容赦願います。

一度ご使用になった商品は、原則としてお取り替えできません。

アフターサービスについて

ご使用中に万一故障などが発生し部品の交換、修理の必要が生じた場合はお買上げの販売店にご連絡ください。

Nabtesco

品質保証書

本書は、当社保証規定に基づいてお買い上げ日より
1年間の無償修理を保証するためのものです。
下記の未記入欄をご記入の上、大切に保管してください。

機　　種		NAW-C-HP-G 型	
車体番号			
お客さま	ご住所	〒 TEL	
	フリガナ ご 氏 名		
お買い上げ日		年　月　日	保証有効年月日　年　月　日まで
販 売 店		印	
発 売 元 および 製 造 元		ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー　福祉事業推進部 〒658-0024　神戸市東灘区魚崎浜町35 TEL(078)413-2724 FAX(078)413-2725	

ナブテスコ株式会社

住環境カンパニー　福祉事業推進部
サービスセンター

〒658-0024　神戸市東灘区魚崎浜町35
TEL（078）413-2724　FAX（078）413-2725

（再生紙使用）　　資料 No.81-SS30027-d